

## 2 行政コスト計算書

1年間の行政コストのうち、資産形成以外の行政サービスに、どのようなコストがかかったか、また行政サービスに対して、使用料や手数料などの受益者負担がどの程度あったかを表した表です。

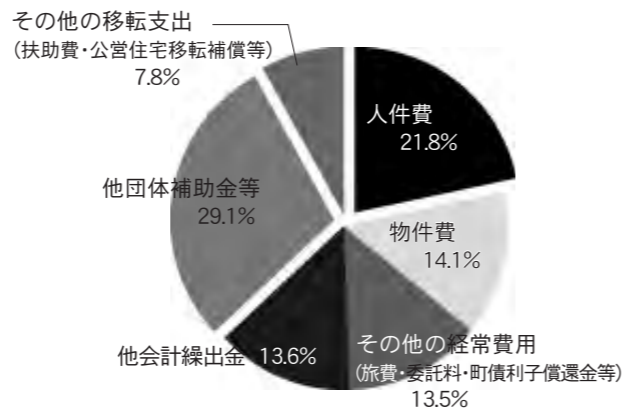
平成26年度の行政コストは総額で、約52億6,293万円。その対価として町民などが負担した使用料や手数料などの経常収益は、約2億8,991万円でした。総行政コストから経常収益を引いた純行政コストは、約49億7,303万円となり、このコスト(不足分)は、町税や地方交付税などの一般財源や、国や道からの補助金などで賄っています。

(単位：千円)

	25年度	26年度	増減額
①総行政コスト	5,059,780	5,262,934	203,154
1.人にかかるコスト (人件費、退職給付費用)	1,105,387	1,123,876	18,489
2.物にかかるコスト (維持補修、減価償却費など)	715,790	863,744	147,954
3.業務にかかるコスト (委託料、公債費利子など)	682,491	832,191	149,700
4.移転支的コスト (補助金・社会保障給付費など)	2,556,112	2,443,123	△112,989
②経常収益	263,855	289,906	26,051
1.使用料・手数料など	263,855	289,906	26,051
<b>純行政コスト</b>	<b>4,795,925</b>	<b>4,973,028</b>	<b>177,103</b>

※ 各科目の端数処理により内訳と合計値が一致しない欄があります。

### ■総行政コストの内訳



## 3 純資産変動計算書

バランスシートの純資産の1年間の増減を表した表です。純資産の残高が最終的に約3億9,058万円減少しているのは、過去に取得した固定資産の経年劣化に伴う減価償却費の減少分よりも、固定資産への投資が少なかったことが主な要因です。

(単位：千円)

	25年度	26年度	増減額
年度当初純資産残高	18,192,350	18,033,514	△158,836
①財源変動額	231,519	△147,146	△378,665
1.財源の調達 (町税、補助金など)	5,861,666	5,795,555	△66,111
2.財源の使途 (純経常費用など)	△5,630,147	△5,942,701	△312,554
②資産形成充当財源変動額	△390,355	△243,438	146,917
1.固定資産の変動 (減価償却費など)	△563,193	△304,439	258,754
2.その他の増減 (町債の増減など)	172,838	61,001	△111,837
変動額合計	△158,836	△390,584	△231,748
<b>年度末 純資産残高</b>	<b>18,033,514</b>	<b>17,642,930</b>	<b>△390,584</b>

※ 各科目の端数処理により内訳と合計値が一致しない欄があります。

## 👁️「財務4表」から見える羽幌町の財政的課題

「バランスシート(貸借対照表)」を見ると、事業用資産約101億9,100万円、インフラ資産約114億2,800万円と羽幌町は多額の資産を保有していることがわかります。しかし、これらの資産を維持管理する経費は「行政コスト計算書」の人・物・業務にかかるコストに含まれ、様々な削減に努めていますが、固定的な経費として財政負担は重くなっています。

また、経年劣化による資産価値の低下や公共施設などの老朽化が進んでおり、公共施設マネジメント計画などに基づき、今後、大規模改修や解体、建替えなど、多額の更新費用の発生が見込まれることが、大きな課題となっています。

## 4 資金収支計算書

1年間の資金の流れを表した表です。平成26年度は、地方債返済などの財務的収支や固定資産形成などの資本的収支の赤字分が経常的収支の黒字分を上回ったため、資金の残高は約8,529万円の減少となっています。

(単位：千円)

	25年度	26年度	増減額
年度当初資金残高	179,326	224,127	44,801
1.経常的収支	759,936	506,775	△253,161
2.資本的収支	△423,260	△478,099	△54,839
3.財務的収支	△291,875	△113,970	177,905
資金収支額合計	44,801	△85,294	△130,095
<b>年度末 資金残高</b>	<b>224,127</b>	<b>138,833</b>	<b>△85,294</b>

※ 各科目の端数処理により内訳と合計値が一致しない欄があります。

# 👁️ 公会計制度から見る 羽幌町の財政状況

羽幌町では、国が示した「地方公会計制度」に基づく「財務書類4表」を作成し公表しています。

## 1 バランスシート(貸借対照表)

バランスシート(貸借対照表)とは、民間企業で一般的に用いられている「企業の財政状態」を表した表です。町が住民サービスを提供するために保有する資産(土地・建物・基金など)がどれだけあって、その資産を形成するために今までどのような財源(負債・補助金など)で賄ってきたのかを表しています。

🔍 用語解説	【資産】 土地、学校、公園、道路などの財産や、投資、基金など、これまで積み上げてきた資産
	【負債】 町債(借金)や退職手当見込額など、将来世代の負担となるもの
	【純資産】 過去の世代で形成した財産や、国や道からの補助金など将来返済しなくても良い財産

平成27年3月31日(平成26年度末)現在 (単位：千円)

資産 100%	25年度	26年度	増減額
① 公共資産	21,925,131	21,620,723	△304,408
1.事業用資産 (学校、福祉施設など)	10,196,850	10,191,966	△4,884
2.インフラ資産 (道路、河川、港湾など)	11,728,281	11,428,757	△299,524
② 投資等	3,749,797	3,697,169	△52,628
1.投資及び出資金	150,838	150,838	0
2.基金など	3,598,959	3,546,331	△52,628
③ 流動資産	363,034	294,355	△68,679
1.資金	224,127	138,833	△85,294
2.有価証券	41,480	41,480	0
3.未収金など	97,427	114,042	16,615
<b>資産合計</b>	<b>26,037,962</b>	<b>25,612,247</b>	<b>△425,715</b>

負債 31%	25年度	26年度	増減額
① 固定負債	7,231,324	7,264,500	33,176
1.町債	5,373,835	5,407,537	33,702
2.退職手当引当金	1,842,320	1,842,223	△97
3.その他	15,169	14,740	△429
② 流動負債	773,124	704,817	△68,307
1.翌年度償還予定町債	695,328	619,501	△75,827
2.賞与引当金	48,683	48,595	△88
3.預かり金(保管金等)	29,113	36,721	7,608
<b>負債合計(a)</b>	<b>8,004,448</b>	<b>7,969,317</b>	<b>△35,131</b>

純資産 69%	25年度	26年度	増減額
1.国・道補助金等	227,447	371,447	144,000
2.一般財源等	17,806,067	17,271,483	△534,584
<b>純資産合計(b)</b>	<b>18,033,514</b>	<b>17,642,930</b>	<b>△390,584</b>
<b>負債・純資産合計(a+b)</b>	<b>26,037,962</b>	<b>25,612,247</b>	<b>△425,715</b>

※ 会計の範囲 今回の公表の対象は一般会計のみです。次年度から対象とする会計を拡大しすべての会計を公表する予定です。

平成26年度末現在で羽幌町が保有する資産の合計は、約256億1,225万円です。これは過去から現在までの間に形成した資産の合計額を表しています。そのうち、純資産は約176億4,293万円(68.9%)で、過去の世代や国・道の負担で既に支払いが済んでいます。負債は約79億6,932万円(31.1%)で将来世代が負担していくことになります。

資産のうち、学校や福祉施設などの事業用資産は39.8%で、道路や河川などのインフラ資産は44.6%です。また、金融資産は資産の15.6%で、保有する資産の多くが学校等の公共施設や道路等の公的資産で売却することが難しい(換金性の無い)資産であることがわかります。

## 👁️ 町民一人あたりにすると・・・

資産	342万円 (前年比0.4%増)	⇔	負債	106万4千円 (前年比1.6%増)
			純資産	235万6千円 (前年比0.1%減)

全国市町村の参考値は、資産が100~500万円の間、負債が30~200万円の間ですから、羽幌町は、どちらも平均的な水準にあると言えます。

※ 平成27年3月末住民基本台帳人口7,490人より算出